

ご意見いただきたい内容:効果的な地域支援ネットワークの再構築について

1. 前提、これまでの取組み

- ・高次脳機能障がい、症状が多岐にわたることから、多職種多機関による地域支援ネットワークを構築することが重要。
- ・平成25年～「地域支援ネットワーク体制整備委託事業」実施により、府内の8つの二次医療圏域で地域支援ネットワークが構築されていたものの、平成29年に事業終了。その後は、各圏域において自立的運営を行うこととし、府はそのために必要な助言等を行うこととしていた。
- ・しかし、事業終了後は各圏域の活動が滞り、ほとんどの圏域でネットワークが立ち消えとなってしまった。
- ・このため、各支援機関が繋がる取組みとして、医療機関や障がい福祉サービス事業所、その他支援機関が事務局となって「地域別実践研修」が二次医療圏域ごとに実施されるよう、府として令和4年度から働きかけや後方支援を行っているところ。
- ・令和5年度は、泉州圏域と中河内圏域において、地域の医療機関が中核となって実践研修等を開催いただいた。
 - ①中河内(1)令和5年9月8日(金)18時半～20時 八尾プリズムホール・レセプションホール
(参加者) 65名
(研修内容) 病院から事業所に繋がった連携例の報告及び名刺交換会
 - (2)令和6年3月7日(木)14時半～16時半 くすのきプラザ・多目的ホール
(参加者) 40名
(研修内容) 連携例をもとにした事例検討及び名刺交換会
 - ②泉州:令和5年11月14日(火)14時～16時半 浪切ホール・特別会議室
(参加者) 93名
(研修内容) 医師による基礎講座及びグループワーク(事例検討)、名刺交換会

ご意見いただきたい内容:効果的な地域支援ネットワークの再構築について

2. 令和6年度の取組み

■今年度から再構築に向けて始動

- ①三島 :令和6年9月7日(土)14時~16時半 愛仁会リハビリテーション病院9階 アイワホール
高次脳機能障がいについての基礎講義に加え、高次脳機能障がいを取り巻く社会資源についての理解を推進する観点から、制度説明や連携例の報告も交えた社会資源に関するパネルディスカッションを実施。参加者85名。
・中核的機関:愛仁会リハビリテーション病院(高槻市)
・事務局メンバー:医療機関、福祉事業所(就B、相談支援事業所)、市障害者職業能力開発センター
・研修参加機関:医療機関、福祉事業所(居宅介護、地域包括支援センター)等
- ②北河内:(1)令和6年9月28日(土)15時~16時半 ラポール枚方4階 大研修室
これから圏域内で高次脳機能障がいのネットワークを広げていくという趣旨のもと、新しい支援者の参加を想定した基礎講義や、連携例等をもとにしたグループワークを実施。名刺交換会も実施。参加者45名。
(2)令和7年3月1日(土)14時半~16時半 大東市立生涯学習センターアクロス4階 多目的室
第1回研修のアンケートにおいて、社会的行動障がいの方への対応方法についての講義を希望する声が多かったことから、それに関する講義や事例検討・情報共有の場として開催。名刺交換の機会も設定。参加者34名。
・中核的機関:川口脳神経外科リハビリクリニック(枚方市)
・事務局メンバー:医療機関、相談支援事業所、福祉事業所(就B)、当事者家族会、市社会福祉協議会、大学
・研修参加機関(第1回):医療機関、福祉事業所(就B、相談支援事業所等)、行政機関等
- 令和5年度から再構築
- ③泉州 :圏域内の社会資源をとりまとめた「資源マップ」に、昨年度の研修に参加した3事業所を追加掲載。
→地域別実践研修が新たな地域資源の把握やネットワークの拡充に繋がっている。
- ④中河内:令和7年2月27日(木) 14時半~16時 くすのきプラザ・多目的ホール
医療・福祉それぞれの面から支援の現状や制度等の説明を行うとともに、より良い連携をテーマとしたパネルディスカッションを実施。参加者54名。
・研修参加機関:医療機関、福祉事業所(居宅介護、相談支援事業所)、当事者家族会等

ご意見いただきたい内容:効果的な地域支援ネットワークの再構築について

3. 令和7年度の取組み予定

令和7年度研修実施の圏域(大阪市圏域・豊能圏域)

・大阪市・豊能の2圏域では、下記の構成で圏域事務局を立上げ予定。(固定ではなく、適宜参加者増を検討)

【大阪市】

・事務局メンバー:医療機関、福祉事業所(就B、就労移行)、大阪障害者職業センター、大阪市更生療育センター、相談支援事業所、基幹相談支援センター

【豊能】

・事務局メンバー:医療機関、福祉事業所(就B)、豊中きらら福祉会、市社会福祉協議会、相談支援事業所、就業・生活支援センター

・上記2圏域について、令和7年3月に事務局の顔合わせを実施。

4. 今後の方向性

・これまで研修を実施してきた、中河内圏域・泉州圏域・三島圏域及び北河内圏域について、自主的・持続的な圏域ネットワークの維持・拡充をしていけるよう、今後とも府として積極的に関わりを持ち、後方支援を行う予定。

・令和7年度は、大阪市圏域・豊能圏域について、研修実施をきっかけとして地域支援ネットワークの拡充・再構築をめざす。併せて、これまで地域別実践研修を実施した圏域についても後方支援を行っていく。

・令和8年度は、南河内圏域での研修実施をめざす。併せて、これまで地域別実践研修を実施した圏域についても、活動が継続するよう後方支援を行う。

・令和9年度以降は、圏域内での活動の活性化に加えて、圏域間の情報交換等ができるよう後方支援を行っていく。

5. 各圏域毎の活動状況及び支援機関について

R7 豊能二次医療圏

- (1)ネットワーク活動状況
一部の医療機関や福祉事業所等により個別ケースで連携。
- (2)圏域内の支援機関
坂本診療所、羅針盤、相談支援事業所あおぞら、ヒューマン等

R7 大阪市二次医療圏

- (1)ネットワーク活動状況
大阪市南西部にNW形成中。
- (2)圏域内の支援機関
東住吉森本リハビリテーション病院、大阪市更生療育センター、頭部外傷や病気による後遺症をもつ若者と家族の会等

H25 堺市二次医療圏

- (1)ネットワーク活動状況
ネットワーク有り。
- (2)圏域内の支援機関
なやクリニック、堺市健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター、ヘッドウェイ堺、堺脳損傷協会、ちゃれんじゃあず等

R5 泉州二次医療圏

- (1)ネットワーク活動状況
ネットワーク有り。
- (2)圏域内の支援機関
葛城病院、泉州中障害者・就業生活支援センター、SKN等

R6 三島二次医療圏

R6 三島二次医療圏

- (1)ネットワーク活動状況
地域別実践研修をきっかけとしてネットワーク再構築中。
- (2)圏域内の支援機関
愛仁会リハビリテーション病院、菜の花障害者相談支援センター、摂津市障害者職業能力開発センター、あおい等

R6 北河内二次医療圏

R6 北河内二次医療圏

- (1)ネットワーク活動状況
地域別実践研修をきっかけとしてネットワーク再構築中。
- (2)圏域内の支援機関
川口脳神経外科リハビリクリニック、ギフト、あさつゆ、あまのがわ等

R5 中河内二次医療圏

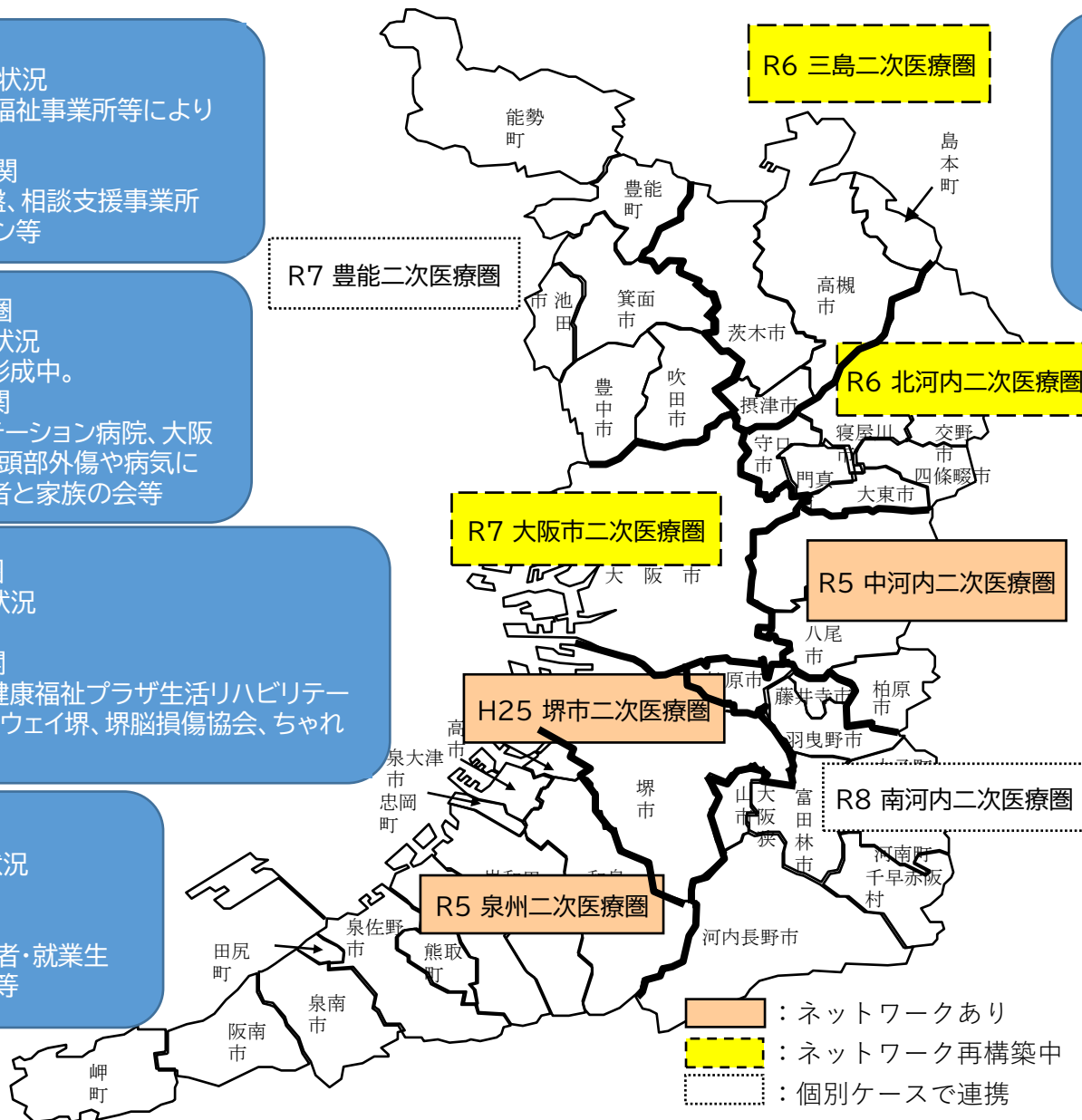
R5 中河内二次医療圏

- (1)ネットワーク活動状況
ネットワーク有り。
- (2)圏域内の支援機関
八尾はあとふる病院、東大阪市立障害児者支援センターレピラここりーど、東大阪え〜わの会、八尾のほっと・ケーキの会等

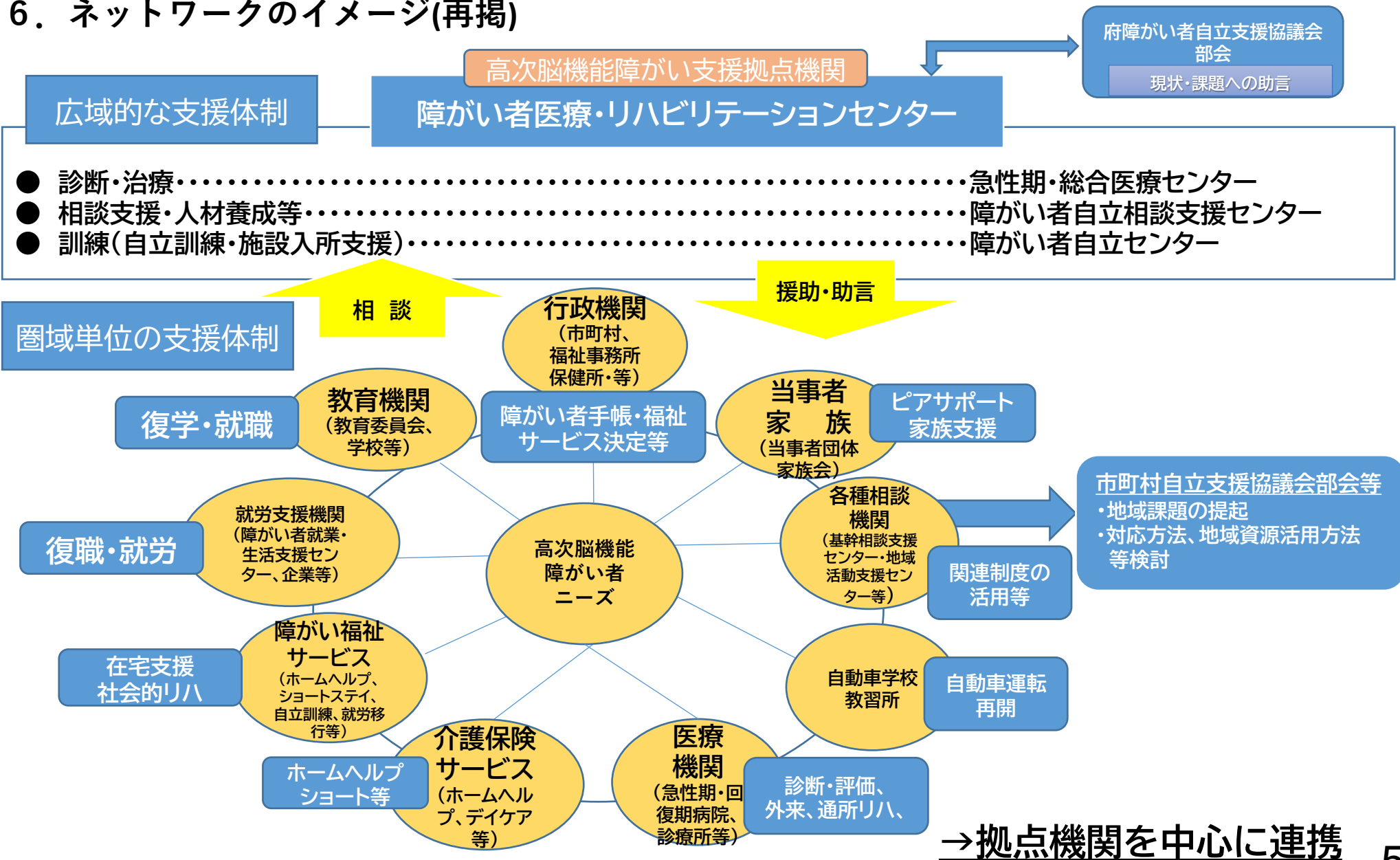
R8 南河内二次医療圏

R8 南河内二次医療圏

- ・ネットワーク活動状況
一部の医療機関や福祉事業所等により個別ケースで連携。



6. ネットワークのイメージ(再掲)



北河内圏域 活動状況報告 ～支援ネットワーク事務局と研修会～

川口脳神経外科リハビリクリニック
リハビリテーション科

* 配布資料はR7年2月中旬に作成
しました

北河内圏域 地域支援ネットワーク事務局

圏域内における高次脳機能障がいの支援ネットワークの構築を目的に、研修の実施等の取り組みを行う。

令和6年2月より定期的に会議を行い、令和6年度中に2回の研修を行う計画を進める。

大阪府
北河内医療圏



出典：北河内メディカルネットワーク
<https://kmnet.or.jp/introduction/>

北河内圏域 地域支援ネットワーク事務局

○現在の事務局メンバー

- ・ 川口脳神経外科リハビリクリニック [枚方]
- ・ 関西医科大学 (リハビリテーション学部理学療法科助教)
- ・ 大東市 障がい者生活支援センターみすみ
- ・ 枚方市 社会福祉協議会
- ・ 就労継続支援B型「ギフト」 [大東]
- ・ 同 「あさつゆ」 [守口]
- ・ 当事者会 代表 [枚方・交野]
- ・ わかくさ竜間リハビリテーション病院 [大東]



地域支援ネットワーク 研修会

第一回

日時：令和6年9月28日 15:00~16:30

場所：ラポール枚方

構成 ①講演 ②グループワーク

①

演題：「高次脳機能障がいの基礎」

講師：川口 琢也 医師 [川口脳神経外科リハビリクリニック]

②支援にあたるなかで思うことなどを話し合う。

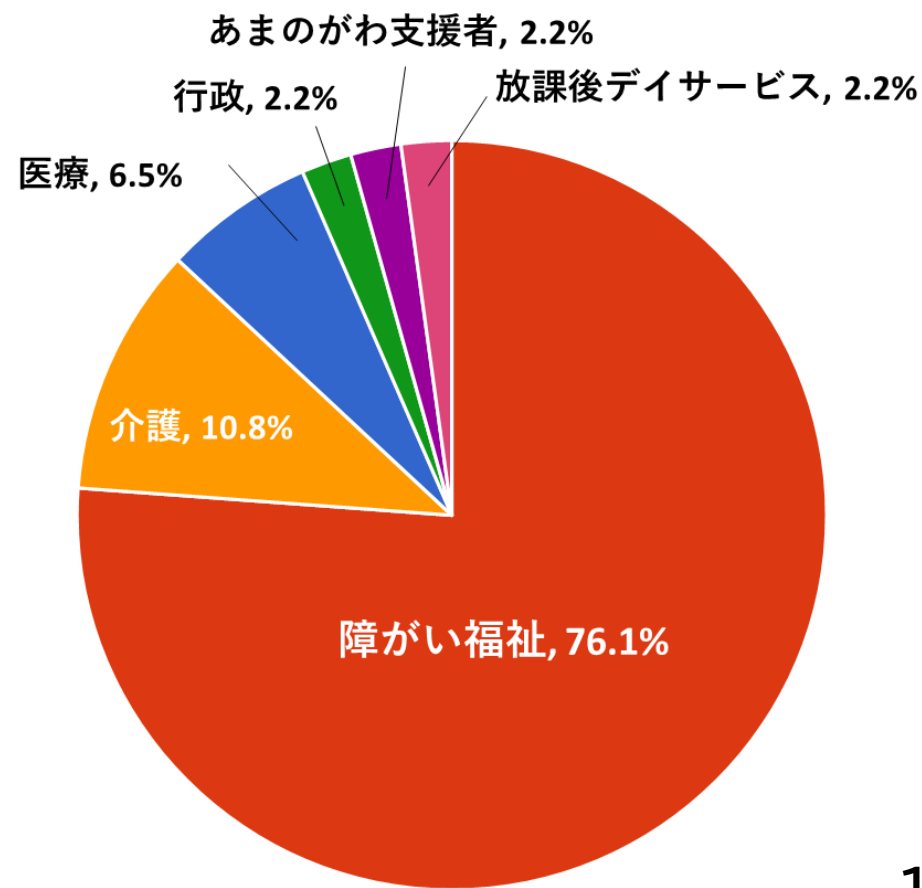
参加者：45名

地域支援ネットワーク 研修会

【参加者の情報】

○勤務先の種別

→障がい福祉＞介護＞医療 の順に多い



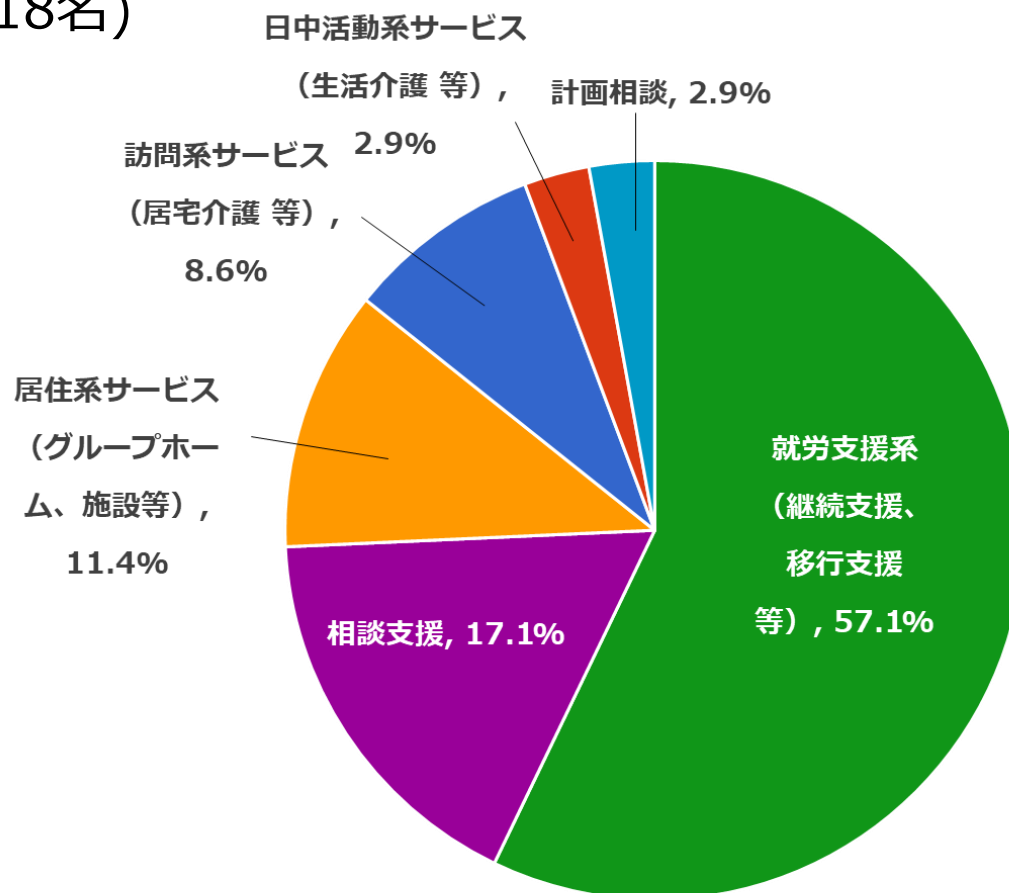
地域支援ネットワーク 研修会

【参加者の情報】

○勤務先の種別（障がい福祉）

→就労支援系＞相談支援＞居住系 の順に多い

9割が継続支援(20名中18名)

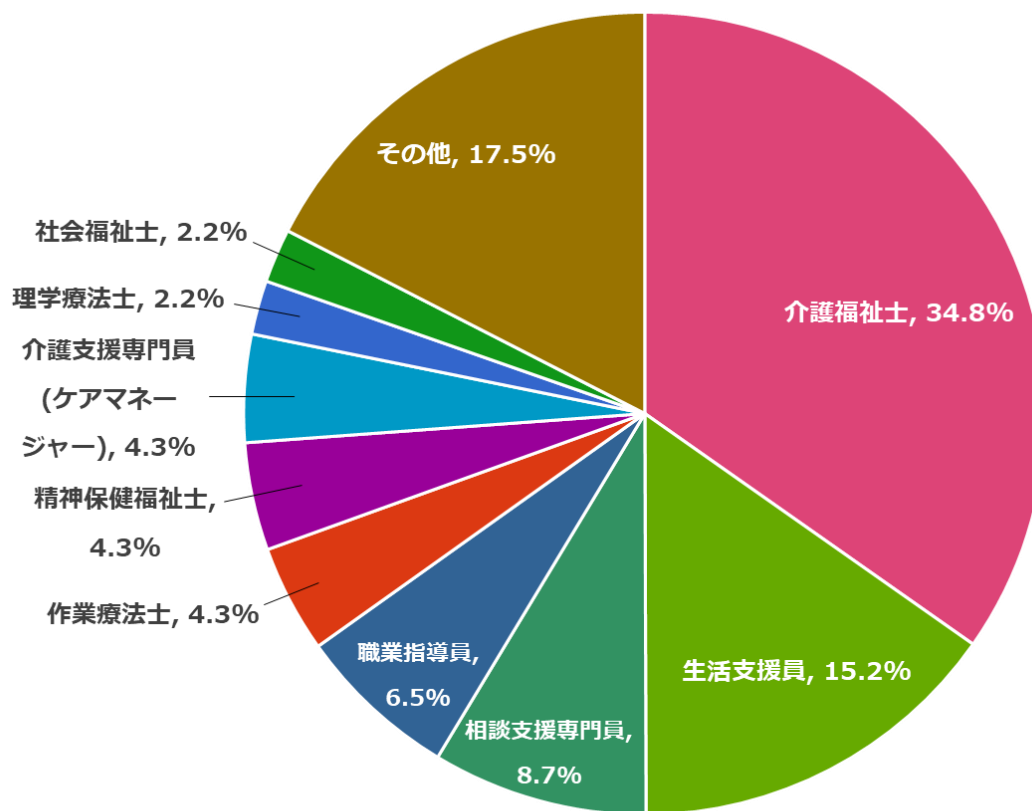


地域支援ネットワーク 研修会

【参加者の情報】

○職種

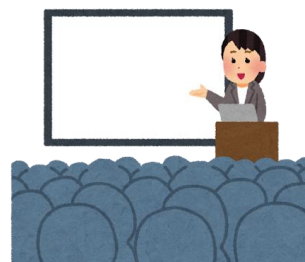
→介護福祉士＞生活支援員＞相談支援専門員 の順に多い
その他、多くの方に参加いただいた(サービス管理責任者、教員等)



今後の方向性

○展望

- ・ 令和7年3月1日 第二回研修会
- ・ 次年度以降も定期的に講演・研修会のほか、支援機関のネットワークづくりのための企画も検討中
- ・ 圏域内の支援機関マップ作成（目標）



今後の方向性

○第二回研修

日時：令和7年3月1日(土)

場所：大東市（生涯学習センター アクロス）

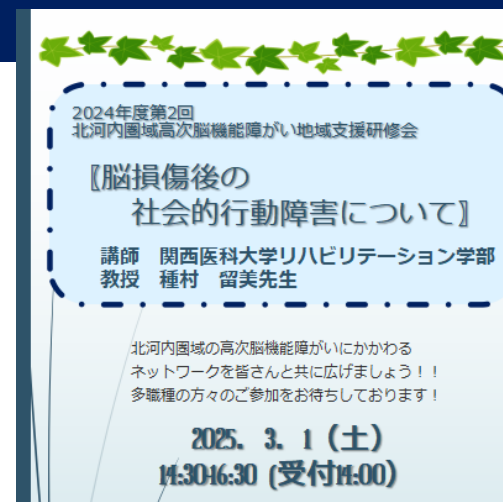
構成 ①講演 ②グループワーク

①

演題：「脳損傷後の社会的行動障害について」

講師：種村 留美 先生 [関西医科大学 リハビリテーション学部]

- ・ 前回のアンケートを踏まえ演題内容を設定.
- ・ 相談員、リハ職、様々な職種の方が参加



クリニックの紹介



HOME home	当院の特色 about us	院長スタッフ紹介 doctor/staff	診療案内 medical	医療関係者の方へ medical personnel	学術 academic	当院からのお願い request
--------------	-------------------	--------------------------	-----------------	-------------------------------	----------------	---------------------



川口脳神経外科・リハビリクリニックのホームページへようこそ。

脳神経外科

リハビリテーション科

放射線科



京阪「香里園」駅から
徒歩約3分
関西医大香里病院裏



スタッフ数

PT 常勤7名、非常勤4名
OT 常勤1名、非常勤1名
ST 常勤2名
CP 常勤1名
RD 常勤1名

- ・リハ科では一般的な身体リハ(整形領域も)パーキンソン他、神経難病の方も対応。
- ・外来では脳卒中、外傷の方のフォローの他頭痛やめまい、ものわすれの方も。

クリニックHP(<https://kawaguchi-ns.com/>)より

ご清聴ありがとうございました

